

がんばるや

もみじ福祉会ニュース

発行/社会福祉法人 もみじ福祉会

(第一もみじ作業所・第二もみじ作業所)

1997年5月
第12号

〒730 広島県広島市中区吉島西2-1-24

TEL (082) 243-0331

FAX (082) 243-0331



自治会「ひまわり会」主催のお花見が、四月十日に吉島公園でにぎやかに終わりました。天気にも恵まれ、作業所から散歩がてら歩いて公園に行くと、心配されていた桜も満開!! 「花が残ったって、えかったの」とみんなの声。
さて、あいつ・カンパイで始まったお花見は、レクソングで盛り上がり、最後の恋人「桜さん」!



桜の下でレクソング...のどか〜

将来構想計画の具体化と 内部研修の充実を

課題めじろおしの5年目

もみじ作業所も、もう開所五年目を迎えました。これまでに振り返ると、開所一年目は、法人運営や定員六十名という無認可時代と比べ、大所帯の施設運営に慣れることであつたという間に過ぎてしまいました。開所二年目は、法人や施設運営の様子もほぼ飲み込め、「法人化はゴールではない」という無認可時代からのスローガンの実現に向けての第一歩として、将来構想計画策定に向けての調査・検討への取り組みを開始しました。

そして、開所三年目は、将来の重度障害者の地域生活支援のためのノウハウの修得などを視野に入れた、宿泊訓練事業の実施に取り組みしました。開所四年目にあたる昨年度は、重度障害者の地域生活支援体制の第一歩として重要な意味を持ち、また、保護者からの要望も強い「緊急一時レスパイト預り事業」の実施に着手するとともに、「宿泊訓練」の運営を含めた専任職員体制を整備しました。

私たちは、開所五年目の今年度を、もみじ福祉会の社会資源としての価値が問われ始める時期と位置づけ、広島市からの「精神薄弱者

生活自立訓練事業」の受託、重度障害者の「働く場」の拡充、生活支援体制づくり、地域におけるもみじ福祉会の社会資源としての付加価値の向上などの視点に立つた、将来構想計画の策定・実施への取り組みを重点課題として考えています。

また、これらの取り組みを進めていくためには、自主財源の確保や福祉制度の充実を求める取り組みを抜きにしては考えることはできません。その意味において、後援会の再編・強化や「福祉制度改善委員会」の立ち上げも待ったなしの課題と考えています。

一方、週四十時間制の実施の中で、多様化する取り組みを推進し、着実に成果をあげていくためには、施設運営の効率化の追求が避けて通れない課題となっております。

もみじ福祉会が法人化した後の四年間に、「くさ



もみじの花見恒例...どんけつゲーム



もみじ発祥?のペットボトルボウリング

ためになつて 楽しくやつて

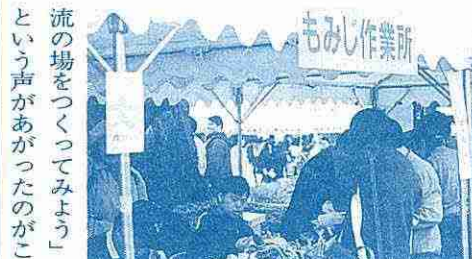
第1回 ひろしま ボランティア フェスティバル ひろく

の企画の発端でした。正味二ヶ月半というあたたかいスピード企画でしたが、当日、会場は福祉分野をはじめ、国際交流、環境保護など、五十を超えるグループの参加と、千八百人の来場者でにぎわいました。

会場は、参加団体の紹介パネル展示や福祉相談コーナー、「点字」や「手話」盲導犬、や「アイマスク」などのお楽しみ体験コーナー、リサイクルバザー・模擬店ステージなど、ためになつてもみじ印刷グループの面々です。



昨年十一月頃、利用者連絡会から「昨年度の折り鶴大会」でボランティアを経験した人の中には、その後「何かボランティア活動が続けたい」と思っている人がたくさんいる、その人たちが、広島で活動しているたくさんの方のボランティアグループとの出会いと交流を促した自主製品



もみじ作業所も、共作連広島県支部を通じて、出店・出品しました。途中、通り雨に見舞われるというアクシデントはありましたが、たくさんの方の売り上げを上げるとともに、参加者は春の一日を楽しく過ごすことができました。また、「もみじの家」の取り組みに関心を寄せる人とも出会うことができました。

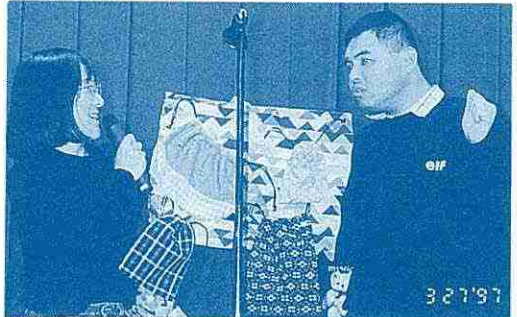
ごい!がんばった!見て!!

96年度私たちのあゆみ発表会

て、1年間の取り組みを
しました。
組みを、理事・保護者・
介する、②仲間自身、こ
いの1年間を知らせ合う、
と取り組みを充実した内
去年よりもっと素晴らし
ボランティアなど、140
方から「みんなの頑張っ
んなの生き生きした姿を
「こんなことや、あんな
た。
も色々工夫されてきた中、
ます。
この発表会で確かめ合っ



ささり・縫製グループ
まず、この一年で頑張っ
てきたことを、一人一人が
作文にしたものを発表。そ
して、全体の取り組みを報
告しました。
仲間からの発想でもあり、
今年はじめをファッション
ショーで飾ろうということ
で、練習を重ねてきました。
少々緊張しながらも、ス
ポットの中、自分自身を精
一杯表現。やり終えた満足
感でキラキラしていました。



これが僕の自信作!!



ダンボールグループ

見て見て! 僕ののりづけイイかんじ
①一年の思い出として、同
じダンボールの仕事をして
いるどんぐり作業所へ見学
に行き、「よし、自分達も
頑張るぞ」と大いに刺激に
なったことなど。
②日常の様子として、実演
を交えてのダンボール箱折
り、のりづけ、当番の様子。
③生産報告
この三つの柱で報告しま
した。実演で拍手喝采があ
り、みんな満足した様子で
ステージを後にしました。



思いを歌に 1!2!3!



真剣な表情 ヤルネ!

クッキー・パン グループ

昨年についてスライドを使
用し、仲間が頑張っている所、
一人一人が毎日の仕事の中
働いている姿を見てもらいま
した。自分が働いている様子
をスライドに合わせて自分で
説明し、クッキー・パンダ
グループの仕事内容を全員で
発表できました。
練習もあり出来ず、本
番当日、「どうなるかなあ」
と心配しましたが、仲間の
本番への強さには驚かされ
ました。



自治会役員会

自治会は、役員会を中心に、
①花見・クリスマス会・ボウリ
ング大会の三つの行事を作り上
げてきたこと。
②念願の規約を完成させたこと。
③役員一人一人が頑張ったこと
などを発表しました。
また、九七年度に向けて新役
員が誕生し、そのおひろめもあ
りました。新役員の仲間の「頑
張るぞ」という熱意がみな
ぎっていました。



取り組みをパネルで紹介

いかんじ〜



印刷 グループ

仕事のベスト5ということでは、「T
一言、インタビューを



一言、インタビューを

軽作業グループ

発表会にあたり、軽作業グループでは、ま
ず仲間一人一人に、どんな頑張ったことを発
表するかを自分達で考えてもらいました。本
番では、ドキドキしながらも「この気持ち、
伝えたい!」という思いで、頑張って発表し
ていました。
仲間達にとっても、
頑張りを実
感できる良
い機会に
なっと思
います。

新たな気持ちで一歩前へ 97年度法人施設開所5年目スタート!

去る四月十八日(金)・十
九日(土)、例年のごとく、
仲間・保護者の協力を得
て、総括会議を開催しま
した。
担当によつては、昨年
末から総括検討を始めて
いた部門もあり、「総括
資料集」はB4・百三十
ページにも及びましたが、
内容においては、昨年よ
りさらに整理・充実した
ものとなったと思います。
年々増大する「総括資
料集」の枚数は、もみじ
作業所の実践・事業の拡
充をそのまま示している
といえます。



〜1996年度 総括会議を終えて〜

ト事業
の充実・
開始、「将
来構想検
討委員
会」によ
る将来構
想基本計
画の検討、
合理化・
効率化す
るのか、
「研修部」
による新
人職員研
修の実施、
後援会再
編に向け
ての始動
などの他、
実践面
で、明日
からの活
動エネル
ギーが
わく総括
会議だっ
たと思
います。

一方、これらの実践・
事業の拡充を支える職員体
制の充実、送迎専任パー
ト職員体制の確保をはじめ、
徐々に前進しているものの、
質量両面においてまだまだ
充分とは言えません。また、
九七年度からの週四十時間
労働制の開始も、この膨ら
む一方の取り組みをいかに
合理化・効率化するのか、ま
たは体制拡充の方策と
財源確保を行っていくか
の課題を迫るものです。
今回の総括会議は、以上
のような成果と、九七年度
の課題・方針を討議・確認
し、厳しい情勢の中にも、
明日からの活動エネルギー
がわく総括会議だったと思
います。

★輝けニューフェイス★



私は新しくもみじの一員
として、クッキー・パンダ
グループで仲間と働くこと
になりました。まだ分らない
ことばかりですが、頑張
ります。

もみじにききかたは今年一月六日です。
まあ、体の気をつけて仕事をがんばりま
す。しりみはまあまあなりなうかんかん
をまじりたりすることです。まずようしんお
ねがいします。おわり

職員さんからの一言

今年から入所した新メン
バー。現在、軽作業グル
ープで頑張っています。そん
な林くんは、なんと浜田省
吾が大好きとか。気の合う
人、声をかけてあげてみて
は?



「2～時～じゃ～」タイムキーパー実演中

私たちは、去る3月27日(木)、広島市社会福祉センターにおいて、まとめた発表会、「あすの見えるわたしたちのあゆみ'96」を行いました。今年で2回目となるこの発表会は、①仲間達の1年間の取り組み、日頃触れ合いの少ないパートの職員の方々に紹介の1年間の振り返り、③それぞれの授産グループの間で、お互いという目的をもって企画されたものです。

昨年度は、午後から半日を使って発表会をしましたが、もっ容にするために、今年度は1日通して行いました。仲間達も、い発表会にしよう頑張っていました。

当日は、仲間・職員に加えて、保護者・もみじ福祉会の理事名を超えるにぎやかな集まりになりました。見終わった保護者の姿を見て感動した、また、ボランティアさんからは「み見て、自分も元気がでた」というような感想を頂きました。

毎日の忙しさで、なかなか日々を振り返ることができない中、こともやったんだ」と自分自身を振り返る絶好の機会となりました。今年度で2回目の取り組みということで、各グループの発表仲間・職員とも、97年度に向けて新たな決意ができたと思います。97年度も、各グループで、色々な取り組みが始まっています。たものを活かして頑張っていきます!!

ボーナス 実行委員会

「ボーナスで何をしようかな。貯金して○○にしよう……」仲間達も夢をふくらませるボーナス資金作りの取り組み。そんなみんなの夢や思いを大切に、そして内容をより分かりやすくという事で取り組んだ「ボーナスの夢の木作り」や「大きな仕事の分担表作り」などを発表しました。仲間達も確実に成長し、売り上げも、九六年冬の取り組みでは過去最高でした。

思いはすでに次に飛んでいる実行委員会さん達。「九七年も頑張るぞ」という声に力が入っていました。

今年もわたしたち



笑顔がいいネツ

「九七年度は○○を頑張りたい」と発表する仲間達の表情も輝いていました。

「九七年度は、予想を大きく超えて六百枚以上売れたこと、カレンダーも早々に七百部完売できたことなど、嬉しいことがあった九六年でした。」

「Tシャツは、予想を大きく超えて六百枚以上売れたこと、カレンダーも早々に七百部完売できたことなど、嬉しいことがあった九六年でした。」

もみじの家は みんなのねがい

伊世澄子



ちゃんがりやらしい
と言っていました。

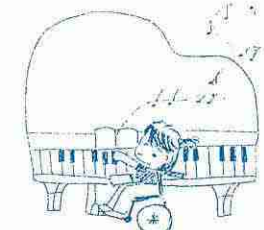


親の願いは、我が子が毎日楽しく作業所に通って、親が病気になることも通い続けられることです。

障害のある子を持つて思うことは、いつも先のことが描けないことです。

伸一は、卒業の時にちょうどもみじ作業所が法人化となり、五名の中に入れてもらえました。伸一の友達のA君は、お母さんがリウマチのために入所施設に入りました。

「施設は、寮母さんも優しいし、食事も満足しています。しかし、何もしなくても一日が過ぎて、死ぬまでここにいてと思う、とてもつらい。いろいろな人と関わって生きている伸



12月		1月		2月		3月		4月	
4日	中福祉事務所実習来所	6日	仕事はじめ	3日	広島福祉専門学校より実習生	1日	中谷氏見学会	25日	保護者会総会
6日	北部療育センター	8日	餅つき・互礼会	6日	自治会主催	3日	中谷氏見学会	22日	共同募金配分金交付式
8日	灯の会より	10日	保護者会例会	7日	ボーリング大会	4日	山田氏見学会	20日	社交クラブマの会
11日	吉島小学校見学会	12日	保護者会例会	12日	西福祉事務所訪問調査	10日	山田氏見学会	18日	96年度総括会議(19日)
11日	もみじ福祉会	14日	クリスマス忘年会	19日	西福祉事務所訪問調査	17日	山田氏見学会	22日	社交クラブマの会
12日	もみじ作業所	16日	クリスマス忘年会	20日	西福祉事務所訪問調査	24日	山田氏見学会	25日	保護者会総会
12日	クリスマス会招待	18日	クリスマス忘年会	27日	西福祉事務所訪問調査	27日	山田氏見学会		
12日	クリスマス会招待	20日	クリスマス忘年会	27日	西福祉事務所訪問調査	27日	山田氏見学会		
12日	クリスマス会招待	20日	クリスマス忘年会	27日	西福祉事務所訪問調査	27日	山田氏見学会		
12日	クリスマス会招待	20日	クリスマス忘年会	27日	西福祉事務所訪問調査	27日	山田氏見学会		

もみじ福祉会 行事日誌

共作連 広島県支部主催

学習会シリーズ

第1回 6月1日(日) 10:00~16:00
田中 昌人氏 (京都大学名誉教授)

10:00~12:00 発達保障について
13:00~15:00 1歳半から3歳までの発達について
15:00~16:00 質疑応答

場所: 県社協ホール
定員: 200名
参加費: 2,000円

《詳しいお問い合わせ先》
共作連 広島県支部 事務局
もみじ作業所内 TEL & FAX (082)542-4693

※2回目以降もすばらしい講師を招いての学習会を計画。ご期待!!

7月6日(日) 小野 隆二氏 「生活づくりについて」
9月28日(日) 白石 正久氏 「自閉症について」
2月7日(日) 秋元波留夫氏 「精神障害について」
藤井 克徳氏

障害者・市民の文化の集い

第15回



フナギ祭り

ともに創ろう 豊かな文化を築こう 生きがいある生活を
——障害者の社会への「全面参加と平等」をめざして——

と き 97年5月25日(日)
10:00~16:30
ば し よ 広島市立広島養護学校
(中区大手町4-4-4)
参加協力券 300円

スポーツの広場
ゴロ野球
盲人野球

文化・情報の広場
ステージコーナー
福祉機器の展示 他

出店・交流の広場
作業所出店
フリーマーケット 他

遊びの広場
子供の広場 等

4つの
広場を
展開!



「今年、三月まで福山に住んでいたので、広島での新しい生活、もみじでの新生活、

応援と 激励と 願いの思いを込めて「広島市障害者福祉計画」への提言

「広島市のノーマライゼーションプランを考える会」は、去る2月20日、「ノーマライゼーションプラン 私たちの提言」を広島市に提出しました。

今回は、その取り組みについて報告したいと思います。

1号の誌上で紹介しましたが、1993年12月、それまでの「障害者対策基本法」の23年ぶりの大改正によって、「障害者基本法」が成立しました。

この、「障害者基本法」の誕生によって、「てんかん」や「自閉症」「精神障害者」など、それまで「障害者」の範囲に含まれなかった分野に法律の守備範囲が広がられました。また保護や指導の対象でしかなかった障害者を社会の構成員の一員として位置づけ、社会・経済・文化など、あらゆる分野への障害者の参加のための環境の整備の必要性が条文化されました。

そして、「障害者基本法」が法の趣旨を実現していく道筋として、国や地方自治体に対して策定や策定の努力を義務づけているのが、「障害者基本計画（プラン）」です。

国は、1995年12月に、この「障害者計画」を「ノーマライゼーション・7カ年戦略」と銘打って発表しました。また、これと合わせて「障害者計画策定指針」なるものを示し、全国の地方自治体に「障害者計画」の策定を促しました。

このような状況の中で、広島市も、一昨年計画策定に必要な実態調査を行い、昨年度から計画策定の作業に取りかかっています。

「広島市のノーマライゼーションプランを考える会」は、この計画策定に市民の声や願いを反映させようと昨年の12月に発足しました。メンバーは、全障研など民間研究団体、広障連など当事者運動団体、大学研究者、社協職員・作業所職員など社会福祉労働者、福祉事務所のケースワーカー・児総センター職員など現場の自治体労働者などで構成されています。

この会では、1年余りをかけて障害者の生活の現状の把握・分析、望ましい生活のあり方の検討、必要な制度・政策の検討に取り組みました。

この取り組みに当たって、この会では、人の一生を乳幼児期、学齢期、青年・成人期の3つの階層と、生活、家業（労働）、余暇活動の3つの場面に分けて検討を加えました。また、取り組みの方法としては、広く一般に呼びかけての不特定多数の人たちによる現状に関する情報や意見の交換のための集会和会のメンバーによる「生活」「家業（労働）」「余暇活動」の3つの場面を軸にした分科会構成での検討会を交互に重ねていく方法を採用しました。

こうしてまとまったのが「提言、ノーマライゼーション・私たちの障害者計画」です。これは、A4版60頁で、「広島市のノーマライゼーションプランを考える会」では、この提言を広島市に提言したほか、一般にも一冊500円で実費配布しています。また、これまでの取り組みの中で出された現状分析や基本的な考え方などとも合わせて一冊の本にまとめて出版することになっています。

このような私たちの取り組みに対して、広島市は、「計画策定の参考にしたい」と大歓迎でした。

もみじの家報告

宿泊訓練 2巡目スタート

95年10月からスタートした宿泊訓練も、96年の11月で60人全員が体験を終え、12月から2巡目に入りました。1巡目の宿泊訓練後、次を心待ちにしていた人、家でも家事の手伝いをするようになった人、今度は誰と一緒に楽しんでいる人、「宿泊訓練はもうしたくない」と言っている人など、色々な声が寄せられています。

2巡目は、さすがに仲間達も1度経験しているだけに余裕をもって臨み、1巡目とはまた違った楽しみ方をしているようです。特に、事前に仲間の意見や思いを聞く時間をしっかり取り、食事のメニューや夜の過ごし方、翌日の過ごし方などの見通し作りを大切にしたり、ロビーに、次は誰と誰が宿泊訓練をするのか、写真つきで名前を貼り出し、本人にも仲間全員にも分かるようにして、気持ち作りを大切にしています。

緊急一時・レスパイト事業 利用希望者が増える

96年の10月から月の上限を3泊4日として、緊急一時預り（家庭の事情等緊急性のあるもの）・レスパイト（介護の負担軽減

が目的）事業を開始しました。この取り組みは、保護者からの強い要望があったことは言うまでもありませんが、全ての緊急一時・レスパイトを受けるには、体制や条件作りに向けての課題が多く、たちまちは専任職員を確保するとともに、長期にわたるニーズがある場合は、緊急一時施設へのつなぎとすることを目的として取り組みを開始しました。

最初の頃は何度も呼びかけをしないと利用者がなかった状態ですが、最近は希望者が多くなり、調整するのに一苦労している状況です。「冠婚葬祭の出席のため」「旅行にいくため」「お見舞いに行くため」など、色々利用して頂いているようです。また、仲間も「楽しかった。また行きたい」と遊びに行く感覚で利用しているのを見ると、仲間自身のレスパイトとしての要素もあると思います。

今、保護者会から「月3泊4日といわず、利用申し込みがあれば全て受けて欲しい」という要望が出され、この事業への期待の大きさを感じる一方、専任職員体制の充実や世話人の確保など、課題もたくさんある中で、今後どう発展させていくのか、もみじ福祉会の将来構想に大きく関わるであろうと思います。

生活自立訓練事業の委託を受ける

97年度から、精神薄弱者生活自立訓練事業の委託を、広島市から受けることが決定しました。3人1グループで買い物や食事作り、掃除に洗濯と、日常生活に関する訓練をする事業で、1年間に2泊3日を5回実施し、3グループやることとなりました。

この事業の実施については「市民と市政」に掲載、公募されるので、もみじ作業所以外の人も受け入れていきますが、もみじ作業所の仲間達には、グループホームに向けての第一歩として位置づけ、利用できると良いと思っています。

世話人さん大募集

来年度は、もみじの家を利用して「宿泊訓練」「緊急一時預り・レスパイト事業」「精神薄弱者生活自立訓練事業」の3事業を行います。これらを行うためには、財政的な援助は当然のことですが、多くの人的援助が必要となります。1日でなくとも、食事作り、入浴介助、昼間の買い物や散歩に行ったりするところだけでも援助して頂ける方を募集しています。やってみようと思われる方、担当の井上、須藤の方へご連絡下さい。待っています。

矯正展に参加したヨ！

3月1・2日に広島刑務所矯正展に出店させて頂きました。広島刑務所の職員の方、関係者の皆様には、もみじの仲間で作るボーナス実行委員会の物品販売にも協力して頂いており、またお隣同士ということもあり、もみじ一同、とても楽し

にしていました。

さて、当日は、商品が飛ぶように売れて、嬉しい悲鳴!! 色々な催しもあり、とても楽しい2日間でした。

最後になりましたが、たくさんの援助を頂いた刑務所の職員の方々に、厚く御礼申し上げます。



どんぐり作業室の皆さん



さむ〜い冬には
こんなことも
あったよね〜



雪山体験学 in 芸北文化ランド

2月16日に行われた雪山体験学習は、あいにくのお天気でしたが、ケガをする人もなく、とっても楽しい1日になりました。

現地に早く着いたこともあり、滑る時間もたっぷりみんな大満足でした。スピードを出し過ぎて転ぶ人、ゆっくり滑る人、新庄学園の方と一緒に滑る人、そしてお昼ご飯をたべながらのどんぐり作業室の人達との交流と、みんなそれぞれ楽しい時間を過ごしました。

ご寄付 ありがとう ございました

(12~2月)

草羽 英俊様
吉島 女性会様
石井 君子様
ノートルダム清心中高等学校様
㈱ムラカミ様
岡本 ゆり子様

もみじ福祉会保護者会様
SDAキリスト教会様
三村 スエノ様
橋本・佐々木・善倉様
小迫 克子様
もみじ福祉会後援会様
植田 治子様